

## 令和4年度（2022年度）第2回特別史跡熊本城跡保存活用委員会 主な意見

資料1

- 日 時 令和4年（2022年）11月25日（金）午前10時から正午
- 場 所 教育センター4階大研修室
- 出席者 伊東（龍）委員長、小堀委員、坂本委員、西嶋委員、服部委員、廣瀬委員、毛利委員、森崎委員、山尾委員、山田委員 計10人（伊東（麗）委員、小畑委員、河島委員は欠席）

### 【前回委員会の主な意見】

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
1	-	-	(事前説明の中で説明)	-

### 【報告】

令和4年（2022年）11月22日市長定例記者会見「熊本城復旧基本計画の検証」について

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
2	西嶋委員	4点を読み上げられましたが、やはり委員会である以上は報告であればペーパーにその4項目をまとめていただきたい。御挨拶であればそこまで求めません。もし報告ということであれば4項目を資料にして、委員に後日お渡しいただきたいと思います。	市長が発表した内容やモニター表示の資料については、改めて保存活用委員会の委員の皆様へ御提供したいと思います。	令和4年（2022年）12月2日、電子メールで送信済。

## 【議題】

## 諮問1 「熊本城みどり保存管理計画（案）」について

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
3	廣瀬委員	「熊本城みどり保存管理計画」を市政だよりに掲載されるのであれば、資料を何回かに分けて掲載するのはいかがでしょうか。	市政だよりは紙面が限られていますので、調整しながら検討してまいります。	市政だより3月号及び4月号で掲載予定（4月はサクラの情報も併せて発信）
4	西嶋委員	「前回委員会の主な意見」について、事前説明を行ったので割愛するというお話しでしたが、これまでも事前説明があって、振り返りが行われていますので、以前と同じように割愛せずに御説明いただきたい。そういう恣意的な運営はやめていただきたい。もし、量が多いのであれば、前回委員会の意見と個別に意見聴取されたものを整理するという形ででも共有していただきたい。	御意見をいただいた内容を踏まえ、今回、素案を作成し、皆様に事前に見ていただいておりますので、回答は既に行っているものとして割愛させていただいたところですが、申し訳ございませんでした。	—
5	西嶋委員	これから保存活用の話が出てくるときに、毎回整備基本計画が作られていないから待ってくださいという話では困ります。そもそも論ですので、今後どうされるかしっかりお考えいただきたい。	災害復旧を最優先でやっていかなければならないわけですが、長期間かかる災害復旧事業です。これから数百年先まで熊本城を適切な姿で残していくためにも、次の災害が来る前に安全で強い熊本城に復旧することが優先されるのは理解しています。国から指導などを受けるに当たっても、災害復旧事業を最優先にと御指導いただいている中、復元整備計画は止まっているところですが、整備という言葉には復元整備・史跡整備などの大規模な整備事業と、災害復旧事業を行いながら一緒にやっていかなければならない整備事業というもの、先ほどの桜や安全に園を一般開放するための整備など並行してやらなければならない整備があります。千葉城地区のこともありますが、文化庁とも協議をさせていただき、復旧事業と並行してやっていかなければならない整備がどれで、後回しにせざるを得ない整備がどれなのか等も整理しながら、そのスケジュールについても検討させていただきたいと考えており、もうしばらくお時間をいただければと思っているところです。	—

## 【議題】

## 諮問1 「熊本城みどり保存管理計画（案）」について

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
6	西嶋委員	短期計画の令和10年度（2028年度）まで意見を反映させていただいた計画を取りまとめいただき、短期計画終了のときに見直しを委員会に諮っていただくという内容で今回取りまとめいただくのはいかがでしょうか。	計画ですから、見直しは必要だと考えております。見直しの際はこの保存活用委員会が一つの肝になると認識しておりますので、そこは御意見を賜りながらになると考えています。	—
7	坂本委員	今後のスケジュールで1月から周知とありますが、そのあとの市民への周知方法については、いつからというスケジュール感がありません。1月から今年度中にあるぐらいのイメージでしょうか。	本年度中の目標で考えています。	・2月 ホームページ掲載 ・市政だより3月号、4月号掲載 ・地域への回覧も予定
8	西嶋委員	市民への周知は1月からですが、お城まつりは12月4日で終わりますね。オープンハウスを開催というのは、1月からの周知ではないということでしょうか。スケジュールがちぐはぐになっている感じがしますが。	策定した内容に関しては、策定後に周知をスタートするということになりましたが、オープンハウスの中で周知させていただいているのは、まだ案ですがこういう計画の検討を進めています、検討している内容はこういったものということです、パネル展示しています。	—
9	西嶋委員	市民の理解、それから意見反映をどのように進めていくかという点が、相当重要だと思います。昨年の7月の委員会でこのことを申し上げましたよね。ヒアリング等を検討しますという御回答をいただきました。やはりそういうコミュニケーションを市民としていただくということが非常に重要で、丁寧にお調べいただいて、これまで植樹をしてこられた団体を一応把握されていますよね。時間が経過している団体に関しては、先方も不明な部分があるかもしれませんが、少なくとも把握されているので、ここまで遡りましたというところを決めていただいて、ヒアリングしていただきたい。植えていただいた木に手をかけることになる部分も相当あるでしょう。そうであればヒアリングしていただきたい。	策定に当たっては、まず一般の方にアンケートを取ることで、市民の意見をつかもうと考えました。また、熊本城に関連が深い周辺の自治会や団体、そういったところは直接出向き、意見交換をした上で意見集約を行ってきました。そういった意見を反映して作り上げたのが今の素案になります。あとは意見をどこまで集めるかというところは非常に難しいことと考えています。 緑に興味がなくとも、お城に興味があって来る方をターゲットとして、細川刑部邸でオープンハウスという形で展開させていただいたところになります。こういった経緯により、今の計画の形ができて上がっています。	—

## 【議題】

## 諮問1 「熊本城みどり保存管理計画（案）」について

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
9 (続き)		<p>たまたまお祭りのときに、そこにパネルで展示したというのが、この趣旨に沿ったオープンハウスになるのか、私にはちょっと疑問です。このテーマにふさわしい、しかるべき場所を設定して、普段皆さんが目にするような場所、よく災害フェアなど開催されていますよね、パネル展とか。そういうところでオープンにさせていただくことが、コミュニケーションになるのではないのでしょうか。</p> <p>市政だよりや回覧という手法は、市民の意見をどうやって吸い上げるのでしょうか。一方的な通知だけに終わる可能性があります。双方向のコミュニケーションになるような周知と意見聴取というスタイルで取り組んでいただかないと。通知というコミュニケーションは封建時代のやり方からあまり変わっていないと思います。やはり市民の意見が反映されて、よりよいものになっていくという手法を取り入れていただきたいと思います。</p>	<p>今回策定する計画が今後ずっと変わらないかと申しますと、先ほど説明したとおり定期的な見直し、その中で新たな方向性が出てくれば、柔軟に対応しなければいけないと考えておりますので、その点は御安心いただきたいと思います。</p>	—
10	廣瀬委員	<p>パネルにアンケートという文字はありましたが、私はアンケートの確認が出来ませんでした。何人の方がアンケートに気付かれたのか。</p>	<p>お声掛けしてアンケートにお答えいただく手法でしたが、声を掛けそびれてしまったのだと思います。申し訳ございませんでした。</p>	—
11	毛利委員	<p>藤崎台のクスノキ群がどんな樹木だったかということまでは紹介してありますが、私達が意見を申し上げていること（添付資料）に対して、これからどのように保存し、活用していくのか。</p>	<p>【熊本県文化課】クスノキ群の活用に向けては、枝折れによる来訪者の危険回避を優先し、クスノキ群の樹勢回復を進めていきたいと思っています。幹回りの看板の内容の修正については、関係者の皆様、有識者の方々に御意見をいただき検討しており、今後地元の皆様に御意見をいただき、今年度中に看板の内容を修正したいということで進めています。</p>	—

## 【議題】

## 諮問1 「熊本城みどり保存管理計画（案）」について

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
12	山田委員	市民的な観点から言えば桜が思いつくのでしょうか、今日の資料にも書いてありますがエリアを限定して補植を検討していくという話でした。あまり心配することもないのかもしれないですが、緑の総量が決まっていない中で、どのタイミングで、どういう形で、それを消していくのか、どのように事業化していくのか、私自身想像が出来ませんでした。それも都度この委員会で諮られるのかなと思います。もし何かお考えがあれば教えていただきたいと思えます。	補植については、これから伐採・剪定などの作業を進める中でいろいろな発見があると思いますので、運用の中で報告すべきところは報告し、皆様の意見を聞きながら進めていくことになるだろうと考えています。 緑の総量が分かっていないのにどうコントロールするかという点は、非常に難しい問題です。今の計画の中心となっているのは危険木、安全確保、遺構への影響をコントロールしていくことであり、遺構への影響については伐採だけではなく、剪定も含んでいます。いろいろな意見を聞く中で、石垣が見えない、天守閣が見えないといったところも議論の一つになっていますので、そういった点も含め、どのように景観等が変わったのかというのは、その都度記録に残し、御報告できるようにしていきたいと考えています。	—
13	山田委員	当時の軍の考えで植えているのかもしれませんが、熊本城の植樹の歴史の中の一場面として非常に貴重なものではないでしょうか。こういう経緯があって今日があり、それを踏まえた保存計画なので、是非この写真は活用していただきたい。この写真について何か、当時の状況など分かっていることがあれば、教えていただきたいと思えます。	当時は本当に森のような状態です。なぜそういう状況があったのか、どのように伐採していったのか。そういったバックグラウンドは分かっていません。ただ非常に興味深い写真ということで、今回共有させていただきました。	—
14	山尾委員	整備計画は、全部出来ないという事ではなく、できる部分があると思いますので、是非、今の復旧の中で出来ることは、暫定的な形でもいいので、是非実施していただきたい。本計画が出来るまでは出来ませんということにはなってほしくないと思いますので、是非検討していただければと思いました。	—	—

【議題】

諮問1 「熊本城みどり保存管理計画（案）」について

資料1

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
15	小堀委員	市民への周知と意見の吸い上げという話が出ていましたが、ホームページには、これから掲載されるということでしょうか。そのページにコメント欄か意見欄を作る考えはありますか。そういうページで閲覧される方は当然関心をお持ちだと思いますので、物申すツールがあれば、いろいろな市民の声が拾えるのではないかと思いますので、よろしく願います。	これからです。現状のホームページは、コメントできる仕組みになっていません。電子メールなどのツールは市として持っていますので、ホームページの中で意見についてはここに出してくださいといった案内は出来るだろうと思います。	-
16	服部委員	熊本城が現役であった時代は、非常に多くの人があつた場で働いていたわけで、例えば、御殿の食事の燃料用に植栽されていた可能性はないだろうかとも考えるのですが、そういうことは分かるのでしょうか。固定で伐らない木と、頻繁に伐って、その分補っていた緑のあり方は随分違うのではないかと思います。そういったことが分かるのであれば書き加えたらいいなと思いました。	新たな発見があれば追加するとか、改定ではなくても記録に残すとか。そういったことをしながら歴史と付き合っていく。そういったことを肝に銘じたいと思います。	-
17	森崎委員	例えば、この木陰ではすごく安らぐことができる、ここの木陰は実は風が非常に通るといったようなところも、その機能の残し方を考えていただければと思います。伐採、植栽して、次に何を目的にするのかという基本方針があれば、ここで伐るのはこのためですというのは、市民の皆様にも理解していただけるかと思しますので、基本方針を早めに設定していただきたいと思います。	-	-

【議題】

諮問1 「熊本城みどり保存管理計画（案）」について

資料1

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
18	伊東委員長	完璧に出来た計画ではないけれども、急がなければならぬ面も大いにあり、計画が滞っているのは駄目である。ただし、これでいったとしても5年ぐらいには見直しましょうという御意見だったと思います。ブラッシュアップが必要というお話しがありましたし、まだまだ大事なことが決まってないところがあって、より具体的に、それは別に検討していかなければいけないという話だったと思っています。計画は一応了承するにしても、ここで安心してしまいうのではなくて、決まっていないこともあるので、それを皆さんで検討していくような具体的な動きが必要だと。そして5年後には見直しましょうという。それと、特に市民とのコミュニケーションの問題も密に、より具体的にやってほしいということもあります。緑化の問題もそうですが、課題がたくさん残っているけれども、それを解決しながら、今日のところは、基本的な線は了承するというようなことではどうかと思います。	-	-

## 【議題】

## 報告2 NHK跡地発掘調査の状況報告について

資料1

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
19	服部委員	結論②に「大規模な造成（西側の削平と北東側への盛土）」とありますが、盛土というのは、上に建物が建つ前提で、たたきとか地盤を特に強固にするための版築（はんちく）というか、そういうものは検出されたのでしょうか。ただの盛土なのか、建物が建つことが前提で何かしているのか。	盛土と言いましても、地表近くのものではなく、たたき締めたりした痕跡は認められませんでした。地形の傾斜が激しいので、ある程度平坦化するための造成ではないかと考えています。	—
20	服部委員	熊本城のこれまでの調査で、盛土といえば何もしないというのは普通なののでしょうか。	宇土櫓の五階櫓が建っている部分の平左衛門丸の所で同じような調査を行っていますが、その際には粘性の土と砂質の土を互層上に積む版築と見られるようなものが出ていますので、今回、NHK跡地では確認出来ておりませんが、熊本城ではそのように施工されている場所はほかにも存在しています。	—
21	山田委員	今回の調査をやった限りでは、結局中世の遺構は何も確認できない。ここは、これまで千葉城ではないかと言われていましたが、そこは考えなくていいのではないかという見通しになりますね。最終的に、ここは何らかのこういう場所でしたという案内板がつくのかつかないのか分かりませんが、これまで一般的には千葉城という認識があった。そこが、今回の調査で崩れるのだらうと思いますが、その辺りはいかがでしょう。	発掘成果から、これが中世の遺構だというのは確認出来ませんでした。出土遺物に中世の遺物がないかどうかは、整理作業を進めていますので、注意しながら整理を進めていきたいと思っています。	—
22	山田委員	継続ということですね。物がなかったらどうなりますか。	発掘調査からは言及できません。	—



【議題】

報告2 NHK跡地発掘調査の状況報告について

資料1

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
23	西嶋委員	<p>今回の調査は千葉城エリアに限定した整備基本計画のための調査ですよね。遺構が出てこなかった特別史跡と遺構が出てきた特別史跡と、遺構があると推察される、上に歴史建造物がのってれば当然遺構はあると素人判断では思う訳ですが、その場所の活用の違いはどういうことなのかということ、今回整理する必要があると思います。整備基本計画がありませんから、その整理がまだ出来ていませんよね。市民にやはり説明をしていただき、市民に納得感を持っていただく。特別史跡になっていることが市民にとって、何を豊かにすることになるのか。そういう観点で説明が必要だと思います。専門家の研究観点だけではなく。先ほど、別の委員から熊本城の現役の時代はというお話がありました。今は保存活用の時代ですから、今は私は現役だと思っています。熊本城特別史跡が。ですから、今の現役の状態をどのように作っていくかということ、保存活用委員会では、相当掘り下げなければいけない。例えば先行している城彩苑は調査をされています。報告書も上がっています。私も見せていただきました。近代の遺構はしっかり残っています。そういう場所は今後どうなるのか。この千葉城も同じだと思います。やはりそういう整理をしっかりしていただく必要がある。次の委員会なのか次の次の委員会なのか、その辺のお考えを当局から示していただかないと。活用の話、整備の話が混迷していくことになると思いますので、しっかり御検討いただきたいです。この話は相当開かれた場所で議論をしていただかないと整理がつかない話だと思います。広く市民に呼び掛けた検討のスタイルをとっていただきたいと思います。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございました。その辺りもよく考えて、皆さんの前でまたお話しできるようにしたいと思います。</p>	—

## 【その他】

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
24	服部委員	江戸時代の技術が分かれば、震度7でも伝統工法で耐えうる。伝統工法が難しければ、それに準ずるものを考えてもらえばいいのではと思いました。	発掘調査や解体調査を行う中で、江戸時代の石垣がどのように積み上げられているのかなどに迫り、できるだけ伝統工法を把握した上で、それを活用できる部分を活用し、それでも足りない部分のところでは、部分的に補強するようなことをしながら進めています。機会がある度に報告していきたいと思います。	—
25	服部委員	飯田丸の二重の石垣も考えようによると、そういうことを配慮したものなのかなという気がしないでもない。	上に飯田丸五階櫓をのせるためにはあれだけの拡張が必要になるので、元々の石垣を抑えるためにという観点を超えるレベルの大きさだと思います。例えば二様の石垣の新石垣のような形であれば、表面積、上の面積で見たときに平面積がそれほど増えませんが、あれだけの意味が一体何にあるだろうと考えたとき、我々は仮説的にあの奥には膨らんでいる石垣があって、それを抑えている可能性があるのではと思っていますが、今後まだ検証していく必要があると考えています。	—
26	西嶋委員	「熊本城みどり保存管理計画」は条件付きで了承されましたが、計画策定中については、去年の7月の委員会でしたか、緊急性の高いものについては伐採しますということでした。報告については委員会だけでなく、先日一つケースがありました。委員にメールで事前調整が行われていました。緊急性の高いものの伐採に関しては、計画が確定して実施期間に入れば、段階的に除去されていくということでしょうが、この間は事務局判断で行われているようですので、どういう緊急性だったのか、どこをどのように伐採・剪定されたのか、資料で報告してください。	—	第3回保存活用委員会で報告

## 【その他】

No.	委員	委員意見	当日の回答	備考
27	毛利委員	野鳥園もあまり手がつけられてないということなので、「熊本城みどり保存管理計画」の中で、1行くらひは触れておいていただいた方がいいのかなと思います。	野鳥園については、現在個別の記載はありません。かといって何もしないという話ではなく、そこにある樹木は熊本城域の樹木ということで保存・管理していくということで考えています。	—
28	廣瀬委員	もし可能であれば、工事と運営で協力していただき、今日はこの石の積み直し作業をしますと表示があればいいのにと感じました。 復旧過程を見ていただきたいのであれば周知を行っていただきたいと感じました。	復旧過程を見せるというのは、検討中の復旧基本計画の大きなテーマでもあります。いろいろと考えていきたいと思います。	—